

2020年3月16日

各位

株式会社 SBI 証券

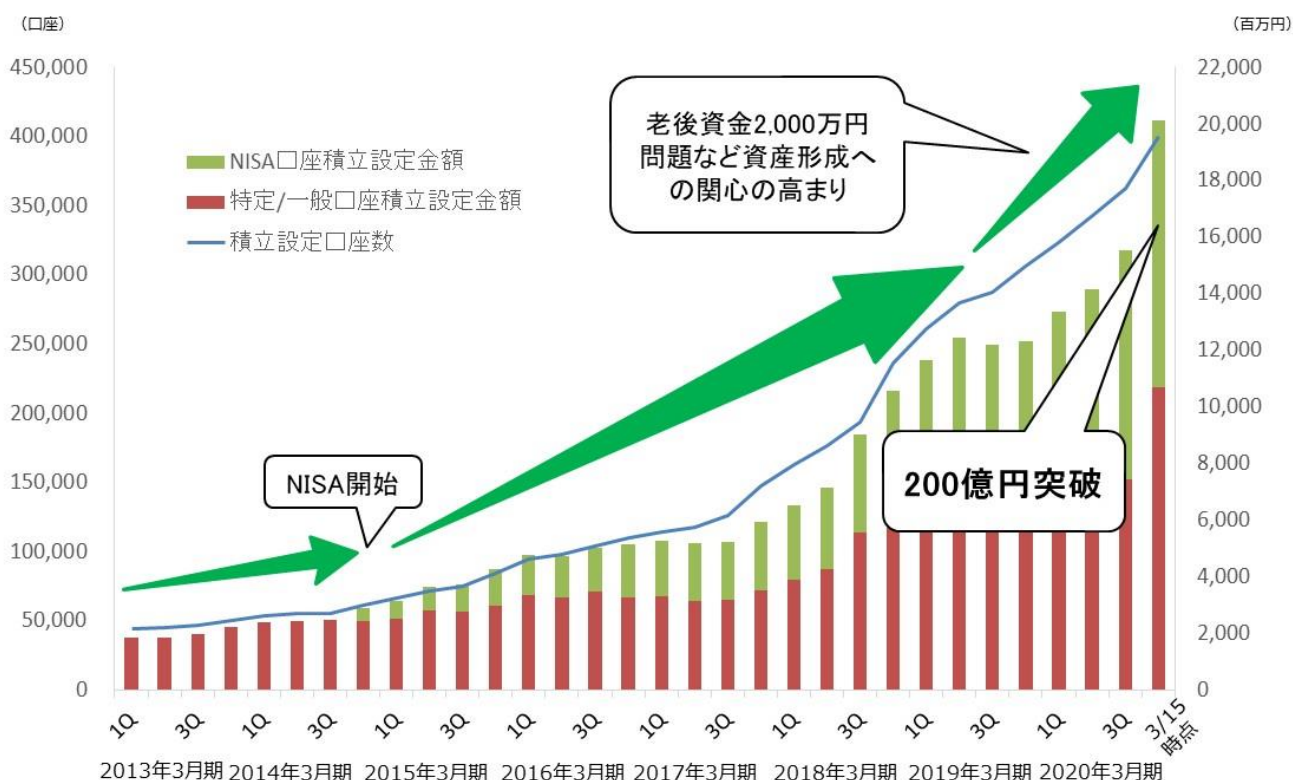
【主要ネット証券最大級】投資信託の積立設定金額 200 億円突破のお知らせ

株式会社 SBI 証券(本社:東京都港区、代表取締役社長:高村正人、以下「当社」)は、投資信託の月間の積立設定金額が、2020年3月15日(日)時点で、主要ネット証券最大級^{*1}となる200億円を突破いたしましたので、お知らせいたします。昨年11月末の150億円突破に続き、その後およそ3ヵ月半余りでの200億円突破となります。なお、積立設定をご利用いただいている口座数は39万口座超となりました。

当社は、投資信託の積立サービスを「貯蓄から資産形成へ」の時代を拓く強力なツールであると位置付けており、2006年よりサービス提供を開始しております。以来、最低設定金額の100円への引き下げ、保有残高に応じておトクなポイントが貯まる「投信マイルージサービス」の導入、積立日設定の毎日・毎週・隔月など全5コースへの拡充、投信積立専用アプリ「かんたん積立 アプリ」の提供など、お客さまの長期の資産形成を支援するべく、さまざまな取組みを行ってまいりました。現在、当社は国内最多水準^{*2}を誇る公募投資信託2,667本を全て販売手数料無料^{*3}で提供しており、投資初心者の方から投資経験豊富な方まで、幅広くご利用いただくに至っております。

当社は、今後も「業界最低水準の手数料で業界最高水準のサービス」を提供するべく、魅力ある商品・サービスの拡充を行い、個人投資家の皆さまの資産形成を支援してまいります。

■投資信託の積立サービスの設定金額及び設定口座数の推移



※1 比較対象範囲は、主要ネット証券 5 社との比較となります。「主要ネット証券」とは、口座開設数上位 5 社の SBI 証券、楽天証券、マネックス証券、松井証券、au カブコム証券(順不同)を指します。(2020 年 3 月 16 日現在、SBI 証券調べ)

※2 2020 年 3 月 16 日現在、SBI 証券調べ

※3 インターネットコースのお客さまが対象

<金融商品取引法に係る表示>

商号等 株式会社 SBI 証券 金融商品取引業者

登録番号 関東財務局長(金商)第 44 号

加入協会 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

<手数料等及びリスク情報について>

SBI証券の証券総合口座の口座開設料・管理料は無料です。

SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。